

千歳 ソウオン美笛川（美笛の滝） 沢登り

日時：2024年9月14日（土）

参加者：CL・A 藤、SL・N 沼、M 江

行程：7：00 岡志別の森運動公園ー白老大滝線ー8：30 ソウオン美笛川入溪
ー9：07 美笛の滝（cont 500）～9：50 P 場着～車で移動

10：10 草笛川林道発ー10：45 入溪（cont 410）ー11：08 F1 大滝（cont
470）ー昼食ー12：40 P 場着



天気は快晴、絶好の沢日和となった。
今日の目的はソウオン美笛川を遡行して美笛の滝までと草笛川を遡行して F1 大滝までの短い2本の沢の遡行である。

美笛の滝まではソウオン美笛川沿いに遊歩道があるとの事前情報だったが我々は写真にあるように看板の脇の道から入りすぐに入溪した。帰りに分かったが看板の少し上に鉄製の階段が設



置されており、そこが遊歩道の入り口だった。遊歩道沿いにはどこまで続いているのかはわからなかったが沢水を通す(?)塩ビ管が設置されていた。

美笛の滝までは難しいところは全くなかった。3～4段の滝は見事であった。

その後、P 場まで戻り、草笛川林道まで車で移動。林道を30分ほど歩き入渓地点を探す。地図上では送電線の下から本流に入渓するはずだが、コンパスを合わせると入渓しようとした沢は方向が違う。支流のようだ。ヤママップで確認すると少し戻った地点に分岐点があるようだが、林道からみても木の陰になって本流は見えない。とりあえず降りてみるとやはりすぐに分岐があった。ヤママップがなければわからなかっただろう。F1の滝までは30分ほどで到着。どん詰まりの20Mほどの滝の脇には支流や涸れ沢があり四俣状になっている。滝の左わきにある泥壁の登攀を試みるが岩盤に薄く張り付いた泥壁には昨夜の雨の影響もあってバイルは全く効かずあきらめざるを得なかった。次の機会には滝のすぐわきのチムニー状の部分から登れるかもしれないとの思いを

残しつつ林道まで戻った。

今回、2本の短い沢遡行だったが、2つの大滝を見学できたのには十分に満足だった。

文責：M 江